

〔太平記十七〕自山門還幸事

鳳輦醒酬後ヲ大床ニ差寄テ新典侍内侍所ノ櫃ヲ取出シ奉レバ頭辨範國劔璽ノ役ニ隨テ御簾ノ

前ニ跪ク貞満口堀左右ニ少シ揖シテ御前ニ參鳳輦ノ轅ニ取付涙ヲ流シテ被申ケルハ略下

〔皇年代略記後小松〕明德三年閏七月三日南方主龜山後令和睦遷御于大覺寺令駕鳳輦三種神器同渡

御

〔聚樂第行幸記〕抑そのかみの行幸いくたびといふことををえらす此度天正十は北山殿足利

應永十五年室町殿義教永享九年の行幸の例とぞきこえける鳳輦牛車その外の諸役以下事

も久しくすたれたる事なればおぼつかなしといへども民部卿法印玄以奉行として諸家のふるき記録故實など尋さぐり相勤らる

〔義演准后日記〕慶長十五年七月廿九日瑠玖國王伏見ヨリ御通鳳輦ニ被乗

〔東武實錄十六〕寛永三年九月六日行幸略中

鳳輦略註

四府駕輿丁兄弟部四人右近府沙汰人一人下座四十猪熊座六人以上白張ヲ著シ鳳輦ヲ昇ク

〔實麗卿記〕文久三年三月十一日丁巳今日賀茂下上社行幸孝也中未刻許上御社行幸有催蓋

腰輿乘御於樓門外召鳳輦時劔璽進退准始御輿出御

〔撮壤集輿中〕葱花ソウクラ

〔倭訓栞中編五〕きぼうし略中葱の花をいふは葱帽子の義也神事の行幸には葱花の御輿を用

うる漢語抄に葱臺橋兩端所堅之柱其頭似葱花故云と見ゆ

〔三條家裝束抄坤〕車

葱花

葱花輦